

[成果情報名] ローダンセマムとの交雑による赤紫花のマーガレット属間雑種「伊豆 43 号」
[要 約] 赤紫色の花色、半八重咲きの鉢物用マーガレット新品種「伊豆 43 号」を育成した。本品種は「伊豆 44 号」とともにマーガレットとローダンセマムの交配で育成された世界初の品種である。
[キーワード] 鉢物、マーガレット、新品種、交配育種
[担 当] 静岡農林技研・伊豆農研セ・生育・加工技術科
[連絡先] 電話 0557-95-2341、電子メール agriizu@pref.shizuoka.lg.jp
[区 分] 関東東海北陸農業・花き
[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

鉢物用マーガレットは、静岡県東部地域の鉢物主力品目として生産されており、市場や産地から、多彩な花色や新しい特徴を持ったオリジナル性の高い品種の育成が求められている。このため、近縁の植物種を用いた交雑育種により、新規性の高い鉢物用マーガレットの新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 育成経過：2014 年に静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センターにおいて、マーガレット育成系統「08-23-1」を種子親、ローダンセマム保存系統を花粉親として交配を行った。交配後に胚珠培養*¹を行って得た 2 個体を優良個体として選抜した。選抜個体に「I14-37-1」の系統名を付与して増殖し、所内および現地ほ場で生育および開花特性に注目して選抜を行った。その結果、「I14-37-1」は鉢物用品種として有望性が認められたため、育成系統候補「伊豆 43 号」とした（図 1）。

* 1 胚珠培養：将来種子となる部分（胚珠）を子房から取り出し培養すること

- 2 生育特性：「伊豆 43 号」は、赤紫花、半八重咲き、中輪タイプの品種で、冬季～春季に開花する（表 1）。
- 3 現地適応性：「伊豆 43 号」は、現地試験においても良好な生育を示し、コンパクトな草姿で、新規性が高いことから鉢物用品種として評価が高かった（表 2、図 2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 本品種は「伊豆 44 号」とともにマーガレットとローダンセマムの交雑で育成された世界初の属間雑種*²品種である。

* 2 属間雑種：生物分類上で異なる属（genus）に分類される生物の間での交雑によりできた雑種。一般的に両親が遠縁なほど交雑が難しいため、種間雑種に比べて雑種の作出が困難である。

- 2 種苗法による品種登録出願を検討しており、栽培にあたっては静岡県との許諾契約が必要である。

[具体的データ]

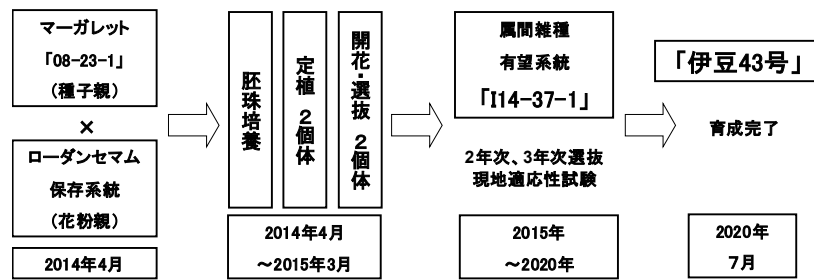


図1 マーガレット「伊豆43号」の育成経過

表1 「伊豆43号」の生育開花特性(2019年、所内試験)¹⁾

系統名	花色	花型	開花日 (月/日)	草丈 (cm)	分枝の 粗密 ³⁾	花径 (mm)	花粉の 有無
伊豆43号	赤紫	半八重	2/13	53.2	粗	47.6	無
08-23-1 ²⁾	桃	一重	1/16	34.5	中	45.8	有

1) 挿し芽2019年8月13日、定植9月4日、摘心9月13日

2) 対照品種: 種子親のマーガレット系統

3) 品種登録特性調査基準により記載

表2 「伊豆43号」の生育開花特性および現地生産者の評価(2019年、現地試験)^{1) 2)}

系統名	花色	花型	開花 時期	草丈 ³⁾	分枝の 粗密 ³⁾	頭花の 直径 ³⁾	現地生産者の評価
伊豆43号	赤紫	半八重	2月下旬	極低	中	中	既存品種にない花色で良い (z, y, x, w, v) 耐暑性あり (z, y, x, w, v) コンパクトな草姿 (z, y, x, w, v) 「伊豆44号」とセット販売可能 (z, y, x, w, v) 新しいタイプの鉢物用品種として有用 (z, y, x, v)

1) 現地生産者: 伊豆市(z)、伊豆の国市(y)、沼津市(x,w)、三島市(v)

2) 現地生産者の慣行栽培で実施。2019年11月下旬に3.5号ポットに定植。

3) 品種登録特性調査基準により記載

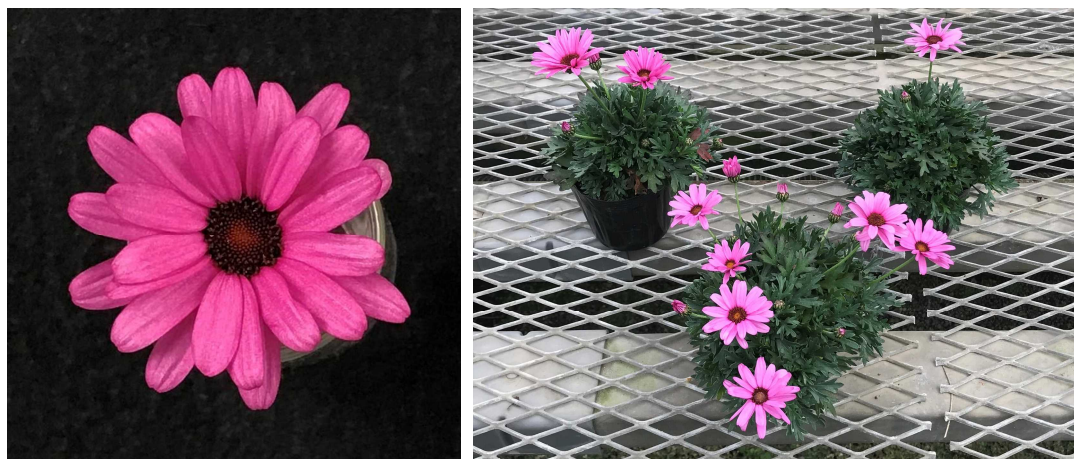


図2 「伊豆43号」の花型(左)と開花時の草姿(右; 現地試験)

[その他]

研究課題名: マーガレット新品種育成と伊豆特産花きの生育特性の解明

予算区分: 県単

研究期間: 2016~2020年度

研究担当者: 勝岡弘幸、加藤智恵美、種石始弘